




報道発表

国際会議「新たな開発目標の時代とユニバーサル・ヘルス・カバレッジ：強靱で持続可能な保健システムの構築を目指して」の開催

平成27年12月3日

英語版 (English)

- 12月16日、東京プリンスホテルにおいて、外務省は、財務省、厚生労働省、国際協力機構（JICA）、日本国際交流センター（JCIE）との共催により国際会議「新たな開発目標の時代とユニバーサル・ヘルス・カバレッジ：強靱で持続可能な保健システムの構築を目指して」を開催します。
- この会議は、エボラ出血熱のような公衆衛生危機に対応するとともに、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の達成を含む強靱で持続可能な保健システムの構築に向けて、各国の政府関係者や国際機関の代表、専門家を多数招いて議論を行うものです。
- この会議は、本年9月の国連総会にて「持続可能な開発目標（SDGs）」を含む「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択（PDF）され、世界の開発目標が「ミレニアム開発目標（MDGs）」から「SDGs」に移行する中で初めて開催される、国際保健分野の国際会議となります。来々年、我が国はG7議長国に就任するとともに、5月にG7伊勢志摩サミット、9月にG7神戸保健大臣会合、また、アフリカでの第6回アフリカ開発会議（TICAD VI）を控えており、日本は、国際保健分野においても、この会議での議論等を通じて積極的に貢献していきます。

（参考）ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）

世界中の全ての人が生涯を通じて必要な時に基礎的な保健サービスを負担可能な費用で受けられること。

（関連リンク）保健分野のイニシアティブ

関連リンク

[ミレニアム開発目標（MDGs）、ポスト2015年開発アジェンダ](#)

[国際協力局 地球規模課題総括課](#)

[このページのトップへ戻る](#)